

ハイライトよねやま

(財)ロータリー米山記念奨学会

2001年5月9日発行

1. 個人情報保護に関する米山奨学会の対応

個人情報保護への配慮

「個人情報につき取扱いにご注意ください」・・・「当冊子に掲載されている奨学生の情報は、本人から開示の了承を得ておりますが、取扱いには十分ご注意ください」・・・

これらは、米山奨学会で奨学生名簿や一覧表を作成・発行する際に掲載している文言です。昨今、プライバシーの保護や人権の尊重などが、多くの分野で顕在化してきました。名簿作成・発行とその取扱い方はもちろんのこと、面接試験などでの質問内容・コメント・その応答において、プライバシー抵触への配慮がきわめて必要とされる時代となっています。

国費奨学生名簿閲覧の廃止

毎年、米山奨学生合格者は3月初旬に決定します。同時期に文部科学省では「国費奨学金合格者名簿」が公開されますので「米山奨学金合格者・継続者」との重複を確認し、複数の奨学金受給者の発生を防ぐ方策の一つとしていました。

しかしながら、本年(2001年4月採用)度から「国費奨学金合格者名簿」の開示が廃止となり、重複受給に関しては当会から大学担当者へその確認を依頼するという異例の対応が必要となりました。

こうした文部科学省の姿勢は、当時国会で審議中の「個人情報保護法案」を踏まえた慎重な対応であり、留学生が国費奨学金を受給しているという事実を公開すること自体が個人情報の保護に抵触するとの判断によるものと考えられます。同様の対応が日本育英会奨学金貸与者名簿の開示においても行われていることが調査の結果わかりました。

合意をはかる努力を

文部科学省のこうした慎重な対応は、国を代表する立場からの見解として心に留める点であります。しかしながら、すべての情報開示を廃止することが個人情報保護につながるかは疑問とすべき点でしょう。「奨学金の重複受給を避けるためという明確な目的」の上で個人情報の保護に努めることも実際的には必要であることを忘れてはなりません。ここに東京法務局・人権擁護部常設相談所で受けたアドバイスがあります。「個人情報の保護とは、情報の取扱いや開示に関して両者(例：奨学団体と申込者)の合意をはかる努力をすることによって成立する」・・・こうした努力を重ねることが、奨学生と奨学団体の相互理解につながります。留学生奨学事業という性質からも、個人情報保護への認識不足やその対応の誤りなどが、思わぬ国際的信用問題へと発展することも考えられます。各地区におかれては、すでに配慮されていることと思われませんが、個人情報保護に関してさらに注意していただくようお願いいたします。(栗原)

東京法務局 人権擁護部常設相談所 :03-3214-6697

2. 故 李 秀 賢さんのご両親から感謝の手紙

今年1月、JR山手線新大久保駅で、線路に落ちた男性を助けようとして亡くなられた在日留学生の李 秀 賢さんに哀悼の意を表し、当会では、留学生奨学団体連絡協議会（J I S S A）を通して、ご遺族にお見舞い金をお送りしました。

このたび故 李 秀 賢さんのご両親から奨学団体あてに、お礼の手紙をいただきました。

ご遺族は、留学の志半ばで亡くなられた李 秀 賢さんの死を無駄にせず、またその行動を記憶に留めるために、奨学事業に力を尽くすことを決められました。

李 秀 賢さんの勇気が新たな若者たちの支援というかたちで実を結ぶことに感慨を覚えるとともに、ご遺族のお志に深く感謝申し上げます。

（故 李 秀 賢さんのご両親からの手紙・一部抜粋）

今回我が息子の秀賢君のために冥福をお祈りくださり、しかも私たちに慰労のお言葉とご弔意金をお送りくださいましたことに対して私たちは真心で感謝いたします。またその有り難い心遣いに対しても決して忘れません。（略）

我が息子にとって留学の夢はもう絶たれたことにはなりましたが、義のある行動を実践することによって、私たちにもっと貴重な勇気や犠牲のことを喚起させてくれました。

今度我が家族は、秀賢君の崇高な犠牲を無駄にせず、私たちも含めて、数多くの皆さんの記憶のなかに留めたく、追慕碑と奨学事業に最善を尽くすことを決めました。

では、皆さんとご家族のご健康・ご多幸をお祈りいたします。

李 盛大

辛 潤賛 拝上

3. クラブ創立記念特別寄付の納入状況

米山奨学会への特別寄付には、個人や法人からだけでなく、クラブ全体としてのものがあります。4月はこのクラブ全体からの寄付、特にクラブ創立記念寄付が目立ちました。

4月1日からの1ヶ月間で、26クラブから合計730万円の創立記念特別寄付金をいただきました。これは4月に納入された特別寄付金の9%を占めます。傾向としては、例年3～5月にこうした創立記念寄付金が多く納入されており、昨年の場合4月に17クラブ、5月に25クラブからの記念寄付がありました。

今回記念寄付をいただいたクラブには、50周年を迎えたクラブから昨年12月に創立された村上岩船ロータリークラブ（2560）の“認証状伝達式記念”まで、幅広い年齢のクラブが含まれています。米山奨学会では、寄付状況や奨学生の世話状況など、米山事業に関する各クラブの歴史をひもとくための資料提供ができます。創立記念などの折には、どうぞお問い合わせください。（羽白）

（財）ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8階

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281